

経営改善計画書・モニタリング エクセルシステム

よくあるご質問（Q&A）

目次

<u>I. よくあるご質問(Q&A)</u>	<u>P1</u>
<u>Q1. メインメニューの画面が表示されないのですが?</u>	<u>P1</u>
<u>Q2. 償還財源が0(ゼロ)となるのですが?</u>	<u>P1</u>
<u>Q3. 約定償還金利息がマイナスになってしまうのですが?</u>	<u>P1</u>
<u>Q4. 経営収支状況の過不足欄が0(ゼロ)であるのに経済階層が「D」と表示されるのですが?</u>	<u>P3</u>
<u>Q5. 負債整理計画の実質過不足と経営収支状況の過不足の値が異なるのですが?</u>	<u>P4</u>
<u>Q6. 借受者情報入力画面で、文字がはみ出て表示されるのですが?</u>	<u>P7</u>
<u>Q7. Excel 2013の『コンテンツの有効化』が2回目以降表示されないのですが?</u>	<u>P10</u>
<u>Q8. エクセルシステムファイルが開かないのですが?</u>	<u>P12</u>
<u>Q9. プレビュー(PDF出力)が表示されないのですが?</u>	<u>P13</u>
<u>Q10. 印刷用紙サイズでB4サイズに設定をしているのに、プレビュー(PDF出力)画面印刷するとA4になるのですが?</u>	<u>P13</u>
<u>Q11. 計画書印刷を行うと経営改善計画「5借り換える資金の内容」と「6 条件緩和の内容」が出力されないのはなぜですか?</u>	<u>P14</u>
<u>Q12. 計画書印刷を行ったとき、目標年度以降の欄も印刷されてしまう現象が見られます。これは仕様でしょうか?</u>	<u>P14</u>
<u>II. お問い合わせ</u>	<u>P15</u>

I. よくあるご質問 (Q&A)

よくあるご質問と回答を掲載しています。
掲載されている内容では解決しない場合は、お問い合わせください。

Q1. メインメニューの画面が表示されないのですが？

- A1. ファイル名が正しい事を確認してください。
マクロが動作するようセキュリティの設定がされているか確認してください。
※詳しくは、『マニュアル_操作説明書[新規入力者用]の I. ご使用になる前に』をご覧ください。

Q2. 償還財源が0 (ゼロ) となるのですが？

- A2. 『2. 経営収支計画』の「償還財源・修正入力」に、0 (ゼロ) が入力されているためです。
この値を参照している「償還財源」(『3. 負債整理計画・(1)借換後の計画』『7-4. 経営の概況』)が0 (ゼロ) となります。
0 (ゼロ) としたくない場合、この項目に空白を入力してください。
※詳しくは、『入力シート説明書 2. 経営収支計画』『算式説明書 2. 経営収支計画』をご覧ください。

Q3. 約定償還金利息がマイナスになってしまうのですが？

- A3. 「約定償還金利息」は、「元利金の合計-元金の合計」から求められます。
ですので、「元利金の合計」より「元金の合計」が多くなるよう入力した場合にマイナスの値となります。
※詳しくは、『算式説明書 3. 負債整理計画・(1)借換後の計画、6. 既往借入金年次別約定償還表 (条件緩和後)』をご覧ください。

[例]

参照元：

① 3. 負債整理計画・(1)借換後の計画	償還額計 (約定償還額計+借換額計)	500
② 3. 負債整理計画・(1)借換後の計画	元金計	300
①' 6. 既往借入金年次別約定償還表 (条件緩和後)	元利金合計	0
②' 6. 既往借入金年次別約定償還表 (条件緩和後)	元金合計	300
③ 約定償還金利息	(①+①') - (②+②')	(500+0)-(300+300) = -100

4 経営の概況

項目		24年計画	25年計画	平均(目標平均)	備考
④(修正)償還財源	千円	0	0	0	
	元金	千円	0	600	
⑤約定償還金	利息	千円	0	-100	③(3-1償還額計 + 6元利金合計) - (3-1元金計 + 6元金合計)
	計	千円	0	500	
⑥過不足(償還財源-約定償還金計)	千円	0	-500		
経済階層の区分(下記注参照)					
⑦経営改善資金対策額	千円	0	0	0	

3.負債整理計画・(1)借換後の計画

(単位：千円)

区分	24年		25年		30年 (目標年次)		償還期間		
	計画	前年度計画	計画	前年度計画	計画	前年度計画		うち掲置	
借換	21年	元利金	0	0	0	0	0	年	年
	上総前年度計画	借換額	0	0	0	0	0		
	(%)	修正入力			200				
	(%)	修正入力			100				
	22年	元利金	0	0	0	0	0	年	年
	上総前年度計画	借換額	0	0	0	0	0		
	(%)	修正入力							
	(%)	修正入力							
	23年	元利金	0	0	0	0	0	年	年
	上総前年度計画	借換額	0	0	0	0	0		
	(%)	修正入力							
	(%)	修正入力							
24年	元利金	0	0	0	0	0			
上総前年度計画	借換額	0	0	0	0	0			
(%)	修正入力								
(%)	修正入力								
21年	残高一括借換	元利金	0	0	0	0	0	年	年
上総前年度計画	借換額	0	0	0	0	0			
(%)	修正入力			300					
(%)	修正入力			200					
21年	経営継承資金	元利金	0	0	0	0	0	年	年
上総前年度計画	借換額	0	0	0	0	0			
(%)	修正入力								
(%)	修正入力								
計	0	(B)	0	0	500	0			
償還額計		(C)=(A)+(B)	0	0	500	0			

②元金計 100 + 200 = 300

①償還額計 500

6. 既往借入金年次別約定償還表(条件)

資金名	番号	年次別約定償還額							
		18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
一般金融機関資金	元利金								
	元金								
	元利金								
	元金								
	元利金								
	元金								
	元利金								
	元金								
	その他計	元利金	0	0	0	0	0	0	0
	元金	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	元利金	0	0	0	0	0	0	0	
	元金	0	0	0	0	0	0	0	
合計	元利金	0	0	0	0	0	0	0	
	元金	0	0	0	0	0	0	300	
大家畜特別支援資金(20~24年分)	元利金	0	0	0	0	0	0	0	
	元金	0	0	0	0	0	0	0	
総合計	元利金	0	0	0	0	0	0	0	
	元金	0	0	0	0	0	0	300	
買掛未払金(営農助)									

①'元利金合計 0

②'元金合計 300

Q 4. 経営収支状況の過不足欄（償還財源-約定償還額）が0（ゼロ）であるにもかかわらず経済階層が「D」と表示されるのですが？

A 4. 判定の基準となる『2. 経営収支計画』の「可処分収入」の値がマイナスとなっているため「D」判定となります。

※詳しくは、『算式説明書 7-4. 経営の概況』をご覧ください。

[例]

2. 経営収支計画(個人)・償還財源算出表(資金繰り) 下さい。

項	目	21年	
		前年度 計画	実績
可処分収入	(L)-(M)+(N) (0)	0	-1,260

「経済階層の区分」は、下記の不等式によってSA～Dに分類しています。

【個人】経済階層の区分（基準：可処分収入）

- SA: ① ≥ ②かつ① ≥ ①' ①' 目標年次の可処分収入 『2-1経営収支計画・個人』[可処分収入(目標年次)]
- A: ① ≥ ② ① 可処分収入 『2-1経営収支計画・個人』[可処分収入(当年)]
- B: ② > ① ≥ ③ ② 家計費+要償還額 1) 残高一括借換 > 0 または 経営継承 > 0 のとき
 ④ + 5償還表(条件緩和前) 約定償還額 元利金の合計
 + 3負債整理計画・(1)借換後の計画 償還額 元利金の合計
 ※うち残高一括借換、経営継承資金を除く
 2) 1)以外のとき
 ④ + 7-4経営の概況 当年[⑧約定償還金計]
- C: ③ > ① ≥ ④ ③ 家計費+要償還額-要償還額元金 1) 残高一括借換 > 0 または 経営継承 > 0 のとき
 ② - 5償還表(条件緩和前) 約定償還額 元金の合計
 - 3負債整理計画・(1)借換後の計画 償還額 元金の合計
 ※うち残高一括借換、経営継承資金を除く
 2) 1)以外のとき
 ② - 7-4経営の概況 当年[⑧約定償還金元金]
- D: ④ > ① ④ 家計費 『7-4経営の概況』[家計費(当年)]

【法人】経済階層の区分（基準：修正経常利益）

SA： ①≧②かつ①≧①'	①' 目標年次の修正経常利益	・・・	『2-1経営収支計画・法人』[修正経常利益（目標年次）※ ¹]
A： ①≧②	①修正経常利益	・・・	『2-1経営収支計画・法人』[修正経常利益（当年）※ ¹]
B： ②>①≧③	②要償還額	・・・	1) 残高一括借換>0 または 経営継承>0 のとき 5償還表（条件緩和前） 約定償還額 元金の合計 +3負債整理計画・(1)借換後の計画 償還額 元金の合計 ※うち残高一括借換、経営継承資金を除く 2) 1)以外のとき 7-4経営の概況 当年 当年[⑬約定償還金計]
C： ③>①≧④	③要償還額－要償還額元金	・・・	1) 残高一括借換>0 または 経営継承>0 のとき ②－5償還表（条件緩和前） 約定償還額 元金の合計 －3負債整理計画・(1)借換後の計画 償還額 元金の合計 ※うち残高一括借換、経営継承資金を除く 2) 1)以外のとき ②－7-4経営の概況 当年[⑬約定償還金元金]
D： ④>①	④0（ゼロ）		

※¹ 修正経常利益＝売上高計－（当期製造原価－うち減価償却費＋販売費及び一般管理費－事業外収入＋事業外費用－うち支払利息）□

Q 5. 負債整理計画の実質過不足と経営の概況の過不足の値が異なるのですが？

A 5. 『4.経営の概況』の「過不足」については、『3-1借換後の計画』の「実質過不足」とは算式が異なります。

過不足＝償還財源－約定償還金計

実質過不足＝差引※¹＋対策額

※¹ 差引＝償還財源計※²－償還額計

※² 償還財源計＝償還財源＋前期繰越

『3-1借換後の計画』の「実質過不足」と『4.経営の概況』の「過不足」の具体的な違いは、**実質過不足の算出方法と新シートの過不足の算出方法を参照してください。**

実質過不足の算出方法

「実質過不足」は「差引+対策額」で求められます。

『3-1借換後の計画』の「償還財源」は『2-1経営収支計画（法人）』の「（修正）償還財源の値」とリンクしています。

[例]

① 3. 負債整理計画・(1)借換後の計画	差引（償還財源+前期繰越-償還額計）	-100
② 3. 負債整理計画・(1)借換後の計画	対策額	100
③ 実質過不足（①+②）		0

2-1経営収支計画（法人）

2.経営収支計画(法人)・償還財源算出表

項 目	20年		21年		22年	
	前年度 計画	実績	計画	前年度 計画	計画	前年度 計画
経常利益 (10)+(11)-(12) (14)	0	0	100	0	0	0
資産処分・預貯金充当 (15)			200			
償還財源 (14)+(15) (16)	0	0	300	0	0	0
(修正)償還財源	計 算 (T)	0	400	0	0	0
	修正入力 (T)					

3-1借換後の計画

3.負債整理計画・(1)借換後の計画

区 分				20年		21年		22年	
				前年度 計画	実績	計画	前年度 計画	計画	前年度 計画
	(%)		修正入力	元利金 (元金)					
	(%)								
	計	0	(B)	0	0	500	0	0	0
	償還額計		(C)=(A)+(B)	0	0	500	0	0	0
償還財源	前期繰越		計 算 (a)	0	0	0			
	償還財源		修正入力 (a)						
	計		(D)=(a)+(T)	0	0	400			
	差 引		(E)=(D)-(C)	0	0	-100			
	対 策 額		(F)			100			
	実質過不足		(G)=(E)+(F)	0	0	0			

① 償還財源 + 前期繰越 - 償還額計
400 + 0 - 500 = -100

② 対策額 100

③ 差引 + 対策額 -100 + 100 = 0

過不足の算出方法

「過不足」は「償還財源－約定償還金計」で求められます。

『4.経営の概況』の「償還財源」と「(修正)償還財源」の値は『2-1経営収支計画(法人)』の同項目とリンクしています。

「過不足」は「(修正)償還財源－約定償還金計」から求められています。

[例]

- ① 2. 経営収支計画(法人)・償還財源算出表 (修正)償還財源 400
- ② 3. 負債整理計画・(1)借換後の計画 償還額計 500
- ③ 過不足 (①－②) -100

2-1経営収支計画(法人)

2. 経営収支計画(法人)・償還財源算出表 ※次を入力して下さい。

項 目	20年		21年		22年	
	前年度 計画	実績	計画	前年度 計画	計画	前年度 計画
経常利益 (10)+(11)-(12) (14)	0	0	100	0	0	0
資産処分・預貯金充当 (15)			200			
償還財源 (14)+(15) (16)	0	0	300	0	0	0
(修正)償還財源	計 算 (17)	0	400	0	0	0
	修正入力 (17)					

4. 経営の概況

4 経営の概況

項目		20年実績	21年計画	22年計画	
況	うち国の奨励金 千円	0	0	0	
	⑩事業外費用 千円	0	0	0	
	⑪うち支払利息 千円	0	0	0	
	⑨経常利益(⑩+⑪-⑫) 千円	0	100	0	
	⑭資産処分・預貯金充当 千円	0	200	0	
	⑮償還財源(⑭+⑯) 千円	0	300	0	
	⑰(修正)償還財源 千円	0	400	0	
	⑱約定償還金	元金 千円	0	400	0
		利息 千円	0	100	0
		計 千円	0	500	0
	⑲過不足(償還財源－約定償還金計) 千円	0	-100	0	
	経営階層の区分(下記注参照)				
	⑳経営改善資金対策額 千円	0	0	0	

①2-1 (修正)償還財源 400

②3-1 償還額計 500

③(修正)償還財源－約定償還金計
400 - 500 = -100

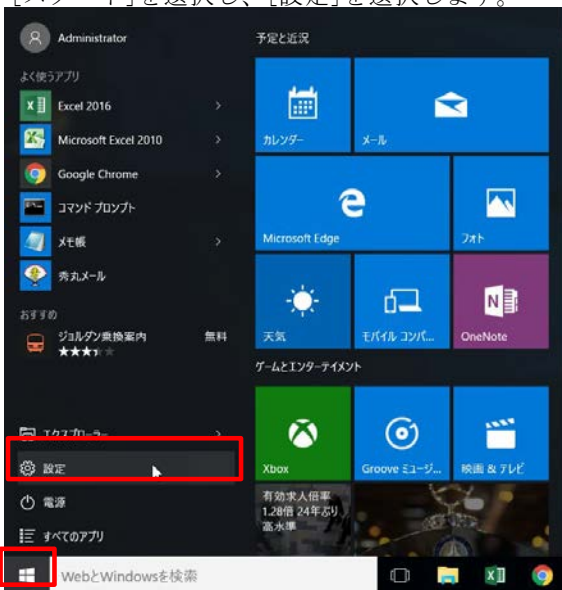
Q 6. 借受者情報入力画面で、文字がはみ出て表示されるのですが？

A 6. 画面の解像度により、文字がはみ出て表示されます。
以下の設定をすると、正常に表示されるようになります。

1.

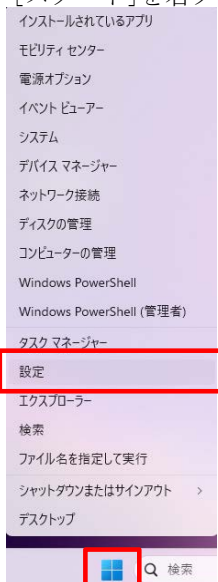
Windows10の場合

[スタート]を選択し、[設定]を選択します。

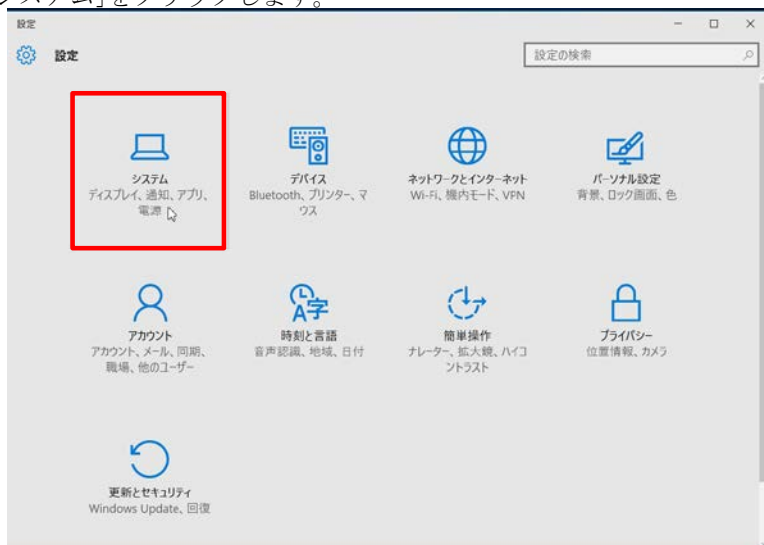


Windows11の場合

[スタート]を右クリックし、[設定]を選択します。



2.
Windows10の場合
[システム]をクリックします。



Windows11の場合
[ディスプレイ]をクリックします。



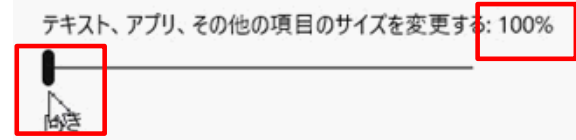
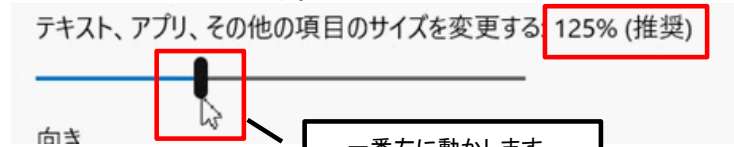
3.
Windows10の場合
[ディスプレイ]をクリックします。



4. ディスプレイ画面にて、項目のサイズを変更します。
『125%（推奨）』が初期値になっています。

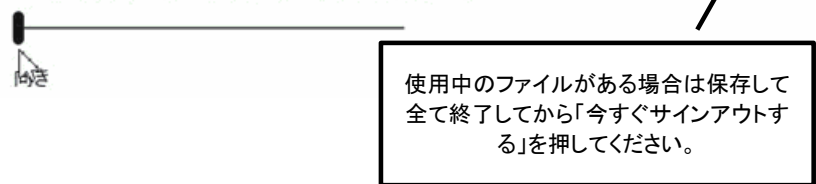
Windows10の場合

テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する：
125% ⇒ 100%にします。



一部のアプリは、サインアウトするまで、拡大縮小の設定に応答しません。 **今すぐサインアウトする**

テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する: 100%



Windows11の場合

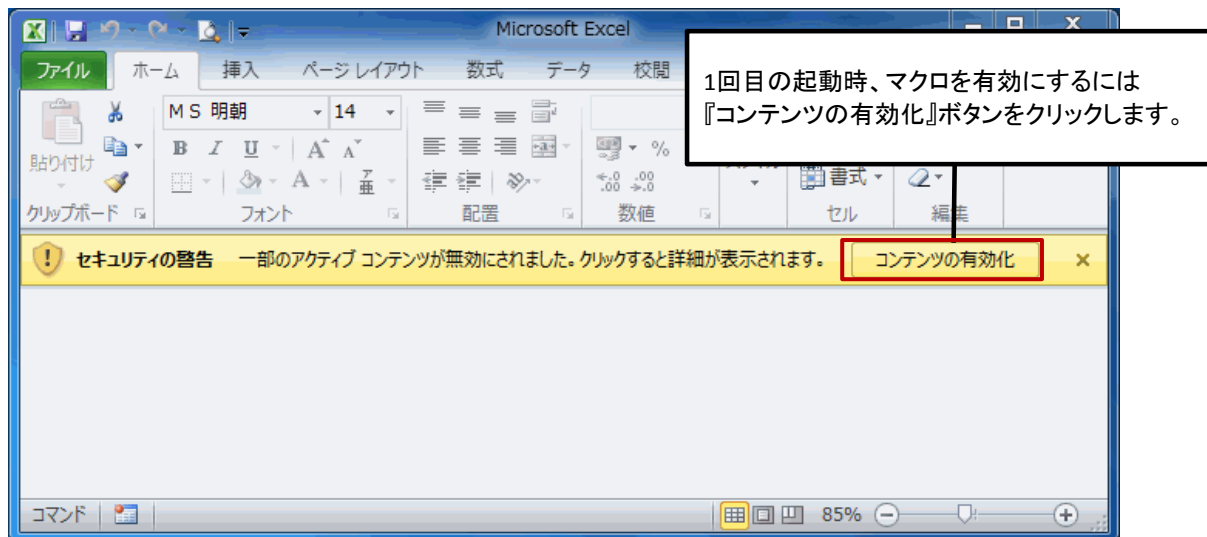
「拡大縮小とレイアウト」の拡大/縮小で
倍率のコンボボックスをクリックし、
125% ⇒ 100%にします。



Q 7. Excel 2016の『コンテンツの有効化』が2回目以降表示されないのですが？

A 7. Excel 2016以降では、一度マクロを有効にしたExcelファイルを記録し、2回目以降には『コンテンツの有効化』を表示せず、自動でマクロが実行されます。

1回目起動時



2回目以降起動時

1度マクロを有効化したものは、
2回目以降『コンテンツの有効化』ボタンが表示されません。
自動でマクロが実行され、メインメニューが開きます。

大家畜特別支援資金(令和5～9年度)経営改善計画書・モニタリングエクセルシステムVer1.0 メインメニュー

目標年次：令和14年 決算期間：1月～12月 印刷サイズ設定

目標年次は借受者情報入力画面で入力して下さい。(変更も可能です)
入力欄は目標年次までしか表示されません。

借受者情報入力 名前、融資機関等、借受者の基本情報を入力
月次モニタリングのシートは決算期間に合わせて設定される 現在のサイズ：A4

令和5年度「経営改善計画」

- データ入力
- データ入力印刷
- 計画書印刷
- 入力票印刷
- 入力結果出力

年次更新

年次更新

次年度の入力用[ファイル]を作成
決算期間の終了後に更新

システム終了

「月次モニタリング」メニュー

1. 飼養管理と生産技術(入力野帳)

- (1) 乳用牛
- (2) 肉専繁殖牛
- (3) 肉専肥育牛
- (4) 乳用ほ育苗成(合計)
 - (4-1)ほ育苗成(乳用種)
 - (4-2)ほ育苗成(交雑種)
- (5) 乳用肥育(合計)
 - (5-1)乳用肥育(乳用種)
 - (5-2)乳用肥育(交雑種)

2. 現金取支の確認・予測(入力野帳)

- (1) 経営活動
- (2) 投資・(3) 財務活動

必要な収支項目を任意に入力

3. 現状及び指導・助言報告書

- 現状及び指導報告

現状をプルダウンから選択
コメント欄には、具体的な内容を手入力
3者で情報を共有

最終入力日：

最終入力者(氏名/所属)：

Q 8. エクセルシステムファイルが開かないのですが？

エクセルバージョン：エクセル2013、エクセル2016

状態：「実行エラー1004」

「WIDTHプロパティが設定できません」
の表示が出てファイルが開けない状況です。



A 8. 中央畜産会へお問い合わせください。

お使いのシステムは旧エクセルシステムです。（ファイル名：D, Y, DT, YT, DK, YK, DS, YS, DE, YE）

「計画書エクセルシステム」は、エクセル2013以降には対応しておりません。

※「旧2」ファイル（DM06, YM07除く）のみ新システムへコンバートが行えます。

※経営改善支援資金（DM06r, YM07r）はH29計画までしか作成できません。

【Microsoft Office Excel対応バージョン】

Excel	計画書エクセルシステム	経営改善計画書・モニタリングエクセルシステム	
	旧1	旧2	新
	D, Y, DT, YT, DK, YK, DS, YS, DE, YE	DM06, YM07, DM08, YM09, DM10, YM11, DM12, YM13, DM14, DM14n, YM15	DM08r, YM09r, DM10r, YM11r, DM12r, YM13r, DM14r, YM15r, DM16r, YM17r, DM18r, YM19r
2010	○	○	△2010動作保証なし
2013	×	○	△2013動作保証なし
2016	×	△2016動作保障なし	○
2019	×	△2019動作保障なし	○
2021	×	△2021動作保障なし	○

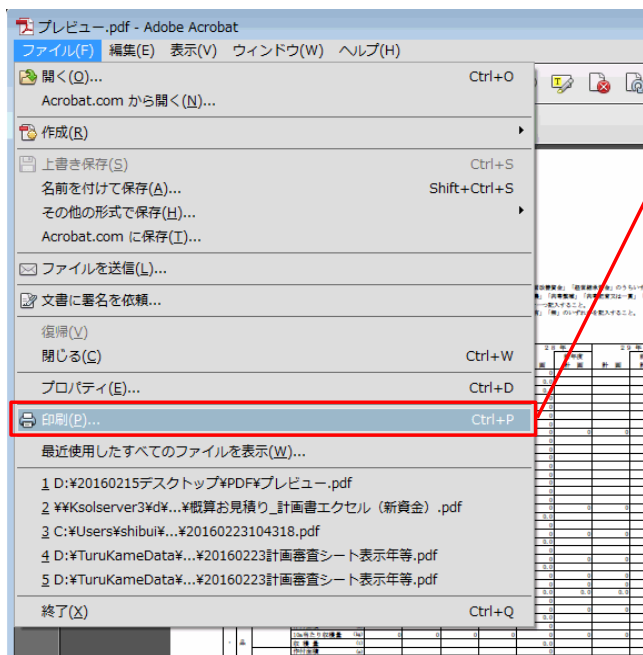
今回の「経営改善計画書・モニタリングエクセルシステム」は、Excel2019,Excel2021に対応致しました。

Q 9. プレビュー (PDF出力) が表示されないのですが？

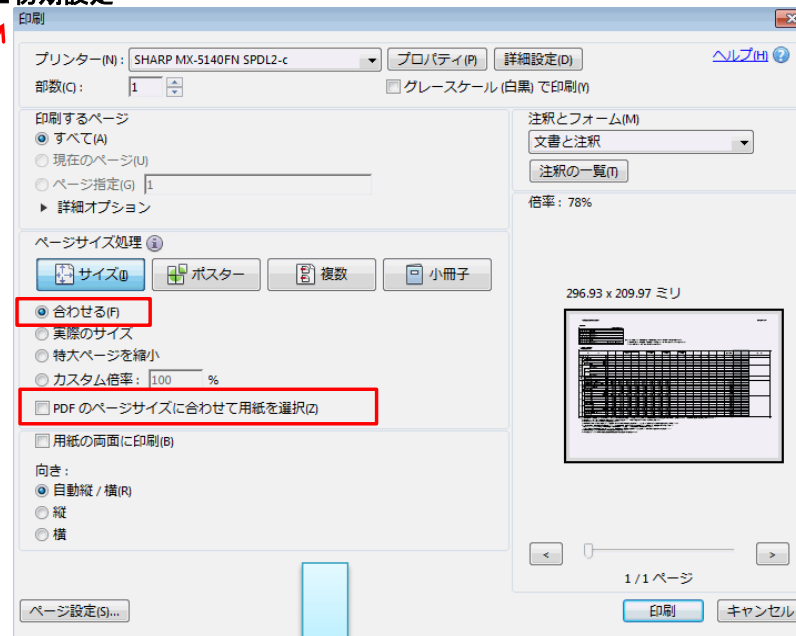
A 9. プレビュー (PDF) の表示にはAdobeAcrobatReader等のビューワーが必須となります。

Q 10. 印刷用紙サイズでB4サイズに設定をしているのに、プレビュー (PDF出力) 画面印刷するとA4になるのですが？

A 10. AdobeAcrobatReaderの印刷の初期設定はA4になっています。
計画書エクセルで「印刷用紙サイズ」をA3, B4に設定してもA4で印刷されます。

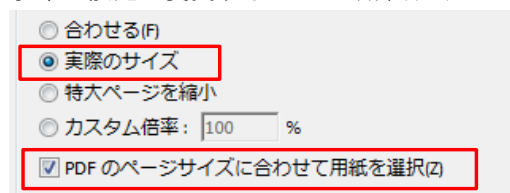


■初期設定



■設定変更

以下の設定に変更するとPDFの用紙サイズで印刷されます。



Q 1 1. 計画書印刷を行うと経営改善計画「5 借り換える資金の内容」と「6 条件緩和の内容」が出力されないのはなぜですか？

A 1 1. 計画書印刷の経営改善計画の「5 借り換える資金の内容」「6 条件緩和の内容」は、データ入力シート「7-5借換・条件緩和の内容」より入力します。入力欄が貸付年度の枠しかないので見直し計画で計画年が貸付年を越えると計画書印刷には表示されません。

例：

大家畜維持緊急支援資金の場合、貸付年 21年、22年の2年間なので計画年が21年（DM10_H21）の時は21年の入力欄が表示されます。同様に22年（DM10_H22）の時は22年の入力欄が表示されます。23年以降（DM10_H23）では表示されません

Q 1 2. 計画書印刷を行ったとき、目標年度以降の欄も印刷されてしまう現象が見られます。これは仕様でしょうか？

A 1 2. 仕様です。

●入力シート（[1-1経営改善の計画]シートなど）

1シートにつき1表で構成されております。そのため、表の行数・列数の見た目を変えることが可能ですので、目標年次以降の不要な列や行は非表示とする仕様としております。

●計画書印刷結果（経営改善の計画1、生活改善の計画2など）

特に、1ページ内に複数の表が存在する計画書や、欄外に注釈文が含まれる計画書などでは、様式のレイアウトを崩さずに表の行数・列数の見た目を変えることが困難です。そのため目標年次にかかわらず行数・列数は常に一定とし、目標年次以降の欄はグレーで塗りつぶす仕様となっております。

例：計画書印刷結果（生活改善の計画2）

目標年次以降の欄は、グレーで塗りつぶされて印刷される仕様です。

Ⅱ. お問い合わせ

公益社団法人中央畜産会 資金・経営対策部

TEL : 03-6206-0833